

行田メソッドWEBプレミアムコース

— 開業医にとっての長期補綴保存症例がもたらすものとは —

Nd:YAGレーザーを効果的に活用し、補綴治療した歯を20年以上長期間安定させ患者様の歯を残すためにできる事。




医療機器承認番号:21700BZY00507000

～その治療、20年後にどうなっているか想像できますか？～

長期安定する補綴治療を思い描いて治療されていますか？その治療が本当に患者様にとってベストな治療でしょうか？その歯は本当に抜かなければいけないのでしょうか？その組織は本当に切除しなければいけないのでしょうか？

今回、審美補綴の第一人者であり、インプラントのマエストロでもある行田克則先生が天然歯の保存にこだわり20年を超えて口腔内で機能する補綴の設計、計画をどのように行っているのか、またその治療の中でNd:YAGレーザーはどのような役割を担うのかと言う事をテーマにお話をいただき、これまで正しいとされてきた歯内療法や歯周治療の概念を見つめ直し、開業医としての実体験を元に編み出した治療に関する考え方をご説明させていただきます。

日時 2020年12月13日(日)
13:00～16:30

会場 WEBセミナー 
※事前に ZOOM アプリのダウンロードをお願い致します

定員 100名 **受講料** 4,000円(税込)

※お申し込みは、先着順とさせていただきますので定員となり次第、締め切らせていただきます。
※ご入金をもちまして正式お申し込みとさせていただきます。
なお、ご入金後の返金には応じかねますのであらかじめご了承ください。

講師 行田克則先生



<略歴>
1982年 日本大学歯学部卒業
1986年 日本大学歯学部大学院卒業
1986年 日本大学歯学部非常勤講師
1988年 上北沢歯科医院開業
2017年 日本大学歯学部臨床教授

学会会員 日本顎咬合学会会員
日本補綴歯科学会
日本歯科審美学会
日本口腔インプラント学会
The Academy of osseointegration

講演内容

- ◆自費治療は長期安定が求められる!
- ◆審美性VS機能性。機能性が伴わない審美性はあり得ない!
- ◆インプラントVSデンチャー。患者様にとってのベストな選択は?
- ◆なんとしても歯根を残す!抜かない事を目指す!
 - 年間抜歯10本以下の臨床を実践。
- ◆補綴の為の根管治療。補綴物の設計は根管治療から始まっている。
- ◆誰にでも失敗はある。問題はいかにリカバリーをするか。
- ◆レーザーはどこで使う?治療の精度を高め保存のために。
- ◆根管治療の失敗で補綴物を除去するのですか?
- ◆レーザーによる根尖病巣処置と予後。
 - 完治するのか?再発はしないのか?
- ◆レーザーによるインプラント周囲炎の処置と予後。
 - 実際の症例から。
- ◆アンチルートプレーニング。
 - 超音波スケーラーとレーザーの活用で歯根膜を残す事の重要性
- ◆その補綴治療は何年使えたら患者様は満足するか?
- ◆本当の意味での医院経営の成功とは?
 - 長く地域で世代を超えて通って来てもらう歯科医院を目指して

<主催>ササキ株式会社首都圏・神奈川ブロック <協賛>インサイブジャパン株式会社 <お問合せ先>インサイブジャパン株式会社 TEL:03-6715-6133

☆下記お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、
営業担当者にお渡しいただくかFAXにてお申し込み下さい。

FAX お申込先 03-6715-6137

【インサイブジャパン株式会社】

dental-laser@incisive.jp

2020年12月13日行田メソッドWEBプレミアムコース参加お申込書

お名前	フリガナ	貴医院名	フリガナ
ご住所			
TEL		FAX	